

本時の見どころ

住民の1人として、八代市の課題を捉え、課題解決や将来の展望について、自分たちの提案プランを考えていきます。その学習過程の中で、より多くの八代市民の支持が得られるプランを効率・公正の視点をふまえた上で考えることができるよう、GTからのアドバイスも取り入れながら議論していきます。

社会科（公民的分野）学習指導案

日 時	令和元年11月19日（火）第2校時
場 所	八代市立第八中学校 3年1組教室
年 組	八代市立第八中学校 3年1組20名
指導者	八代市立第八中学校 教諭 菊川由季

1 単元名 第3章 3節「地方自治と私たち」（東京書籍 p.102～116）

2 単元について

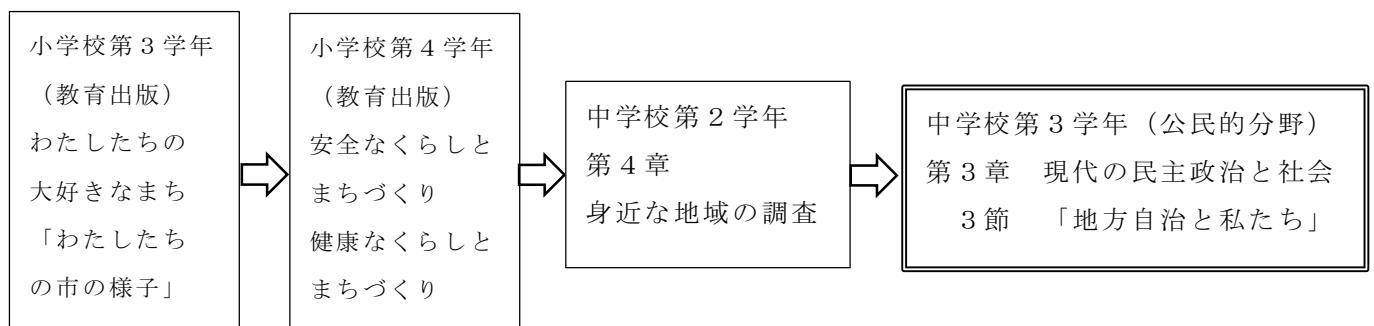
（1）単元観

本単元は、学習指導要領の公民的分野「（3）私たちと政治」の「（イ）民主政治と政治参加」に位置付けられている。学習指導要領において、「地方自治の基本的な考え方について理解させる」については、住民自治を基本とする地方自治の考え方について理解させることを意味している。すなわち、地域社会における住民の福祉は住民の自発的努力によって実現するものであり、住民参加による住民自治に基づくものである。そして、このような住民自治を基本とする地方自治の考え方が、地方公共団体の政治の仕組みや働きを貫いている基本的な考え方である点を理解させることを意味している。

現在、地方自治体を取り巻く状況は、少子高齢化や情報化、グローバル化などにより急速に変化している。その変化の中で、今後の方向性を明確にしていく上で、国はもちろん、各地方自治体においても「総合計画」を策定し、取り組んでいる。誰もが安心して豊かに幸福に暮らすことのできる地域をつくる「民主主義の担い手」として、様々な地域の課題を解決しようとする態度や資質・能力を育成するのに適した単元である。

（2）系統観

本単元における系統は以下の通りである。



(3) 生徒観

本学級は、男女とも仲がよいが、おとなしい生徒が多い。社会科の授業においても、積極的に発言したり参加したりすることを苦手とする生徒が数名いる。

2年生の「身近な地域の調査」で、八代市の統計年鑑を活用しながら調査を行ったところ、以下のような点に興味・関心を持った。

福祉関係（2名）	安心・安全（犯罪件数）（2名）	進学率（1名）	
災害関係（1名）	人口（5名）	外国人登録者数（4名）	八代の産業（7名）

調査レポートをみると、八代市の産業や人口に関して興味・関心を持つ生徒が多いことがわかる。福祉関係においては、少子高齢化と結びつけながら現状と対策を考えていた。地理的分野での学習ということから、統計資料をもとに地域の課題を見いだし、グラフで表現させた。本単元でも扱うことによって、自分たちの住んでいる地域の課題を改善するために行政が行っている取組などを学ばせることにつなげ、系統的に取り組む。

また、本単元を実施するにあたって、アンケートをとった。結果は以下の通りである。

問い	結果
(1) 熊本県の県知事を知っていますか。	・知っている→8人・知らない→13人
(2) 八代市の市長を知っていますか。	・知っている→8人・知らない→13人
(3) 地方自治という言葉の意味がわかりますか。	・わかる→1人・なんとなくわかる→5人 ・わからない→15人
(4) 八代市の大切にしたいもの、未来へ残したいもの、自慢できるもの、誇れるものを書いて下さい。	・妙見祭などといった伝統行事（13人）・自然の豊かさ（7人）・いぐさ（5人）・妙見宮（4人） ・ばんぺいゆ（3人）・トマト（3人）・球磨川祭り・犯罪が少ないこと・地域との交流・きれいな地下水・氷室祭・日奈久温泉・宮地和紙・家の近くでほたるをみられる
(5) 八代市が進めていることで（人々の暮らしをよくするためなどに）何か知っていることがあれば教えてください。	回答なし

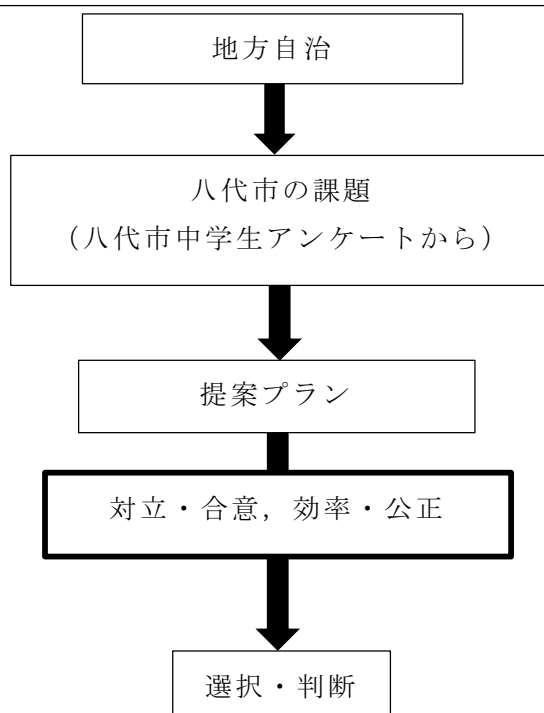
アンケートの結果より、熊本県や八代市の政治や取組に対して興味のある生徒は少ないことがわかる。また、八代市の大切にしたいもの、自慢できるものに関しては、宮地校区に住んでいるということから、「妙見祭」と書いた生徒が多く地域の伝統行事に誇りを持っている。一方で、八代市の代表的な農産物である「ばんぺいゆ」や「トマト」と書いた生徒が少なかったことから、広い視野で八代市を捉えることができていない。さらに、本単元で学習する地方分権については、ほとんどの生徒が知らないという実態がみられる。

(4) 指導観

人々の暮らしをよくするために八代市が進めていることについては知らないという生徒の実態をもとに、本単元では、生徒が自らの住む自治体の仕組みや働きに興味・関心を持たせたい。そのために、地域の身近な問題や具体的な事例を取り上げ、学習を進めていきたい。地方自治の意義や目的、住民参加の方法などについては徹底指導を行い、基本的な考え方を習得させていきたい。

また、八代市中学生アンケートや八代市総合計画より、八代市の課題を考え、それに対する提案プランを検討する。その学習過程を通して、民主主義においては、自分と他者とが同時に満足することを模索し続けるのではなく、より多くの支持が得られる決定が大切であることを捉えさせ、そのような話し合いの姿勢や態度を育てたい。加えて、地域への理解や関心を高め、地域の発展に寄与しようとする態度を育て、八代市民としての誇りを持たせたい。

単元を貫く課題：住民の1人として、暮らしやすい八代市にするために、今、どんな力を身に付ければよいのだろうか？



【公民的資質・能力】

- 効率・公正の視点をふまえた上で、社会的な見方・考え方ができる。
- 地域社会への関心を高める。 ○政治に参加する意義を自覚する。
- 地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識を持つ。
- よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究し、主体的に社会の形成に参加する態度を培う。

3 単元目標

社会的事象への 関心・意欲・態度	自分たちが住む地域社会への関心を高め、住民の1人として、地方自治の発展に寄与しようとする自治意識を培わせる。
社会的な 思考・判断・表現	地方自治が直接請求という直接民主制の方法を導入している理由について、具体的な事例に基づいて、多面的・多角的に考察させる。また、主権者としての政治参加のあり方について考えさせる。
資料活用の技能	資料の読み取りなどを通して、地方の政治について具体的に理解させるとともに、発表や討論などを通して考えを深めさせる。
社会的事象についての 知識・理解	住民自治を基本とする地方自治の考え方や仕組みなどについて理解させる。

4 単元の指導計画と評価（規準）計画（全8時間 本時 8 / 8）

次	時	主な学習活動	評価
1	1	「私たちの生活と地方自治」 ・地方公共団体の仕事について具体的な事柄を通して理解するとともに、地方分権の意味について理解する。	・地方公共団体の仕事を理解するとともに、地方分権の考え方について理解している。 【知識・理解（小テスト）】
2	1	「地方自治の仕組み」 ・地方議会における条例の制定について理解するとともに、二元代表制のしくみを通して、地方公共団体の政治について理解する。	・地方自治のしくみを、地方議会と首長の役割を中心に理解している。 【知識・理解（小テスト）】
3	1	「地方財政の仕組みと課題」 ・地方公共団体が抱える課題について考え、話し合ったことを発表する。	・地方公共団体の政治について、財政面など様々な角度から考え、適切に表現している。 【思考・判断・表現（ワークシート）】
単元を貫く課題：住民の1人として、暮らしやすい八代市にするために、今、どんな力を身に付けばよいのだろう			
4	1	「住民参加の拡大と私たち①」 ・住民参加の方法について、八代市のHPの活用やGTとの交流を通して、様々な方法があることを理解する。	・八代市のHPや「広報やつしろ」、「八代市協働のまちづくり推進条例」の活用やGTとの交流を通して、地域社会の一員としての自覚を持ち、政治参加に対する意欲を高めている。 【関心・意欲・態度（ワークシート）】
	1	「住民参加の拡大と私たち②」 ・「ひと」「まち」「しごと」に関	・統計資料やアンケートの分析方法を理解する。

		する統計資料や市民アンケート、中学生アンケートの結果より八代市の課題を知る。	【技能（ワークシート）】
	1	「住民参加の拡大と私たち③」 ・八代市の住民の1人として、八代市の課題を踏まえ、各班での話し合いを通して、課題に対する具体的な提案プランを完成する。	・八代市の課題を踏まえ、課題解決や将来の展望について、住民の立場として、考察している。 【思考・判断・表現（ワークシート）】
	1	「住民参加の拡大と私たち④」 ・八代市の住民の1人として、八代市の課題に対する提案プランについて、住民の立場で発表し、意見の交流を通し、現代社会の見方や考え方を理解する。	・八代市の課題を踏まえ、課題解決や将来の展望について、住民の立場として、考察し発表している。 【思考・判断・表現（ワークシート）】
	1 本 時	「住民参加の拡大と私たち⑤」 ・八代市の住民の1人として、自分たちが考えてきた提案プランについて、意見の交流を通し、より多くの八代市民の支持が得られるように、効率と公正の視点を踏まえて再考し、最終的にはどのプランを優先すべきか考える。	・自分たちが考えてきた提案プランについて、効率と公正の視点をふまえた上で、より多くの八代市民の支持が得られるプランになるように再考し、最終的にはどのプランを優先すべきか考え、根拠を持って説明できる。 【思考・判断・表現（ワークシート）】

6 本時の学習

(1) 本時の目標

自分たちが考えてきた提案プランについて、効率と公正の視点をふまえた上で、より多くの八代市民の支持が得られるようになるように再考し、最終的には、どのプランを優先すべきか考え、根拠を持って説明できる。

(2) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	学習形態	○教師の指導	教材資料等
導入	7分	1 前時の学習を振り返る。	一斉	○前時までに生徒たちが考えた八代市の課題、提案プランについて振り返らせる。 ・前時に投票したランキングを発表する。 ・GTに評価をしてもらう。	ワークシート 投票結果 GT

展 開	3 分	学習課題：3年1組の思いや願いを市に届けよう。				
		2	本時の学習課題を知る。	一斉	○前時のワークシートやG Tのアドバイス，統計資料等を活用し，プランの練り上げをしていくことを伝える。	ワークシート資料
	20 分	中心発問：より多くの八代市民の支持が得られるプランを考えよう。				
	10 分	3	自分たちが考えてきたプランについて，より多くの八代市民の支持が得られるプランになるようにこれまでのプランを練り上げていく。	一斉	○「視点の移動」についてのなげかけ（自分たちの案を優先してもらうためには，より多くの支持を得る必要がある）を行う。 ○前時までの資料やワークシートを活用して，多面的・多角的に考察し，より多くの八代市民の支持が得られるプランになるように学級全体で考え，根拠を持って発表できるようにする。 ○G Tにも入ってもらい，生徒たちの考えを深められるようにアドバイスをしてもらう。	ワークシート資料 G T
	10 分	4	最終的に，どの提案プランを優先させればよいか，個人で判断し，ワークシートに書き込む。	個	○最終的な判断をする中で，自分が考えたことを発表させる。	ワークシート
ま と め	10 分	5	本時のまとめと本単元の振り返りをする。	一斉	○本時の活動を通して，地方自治に住民が参加することの大切さについて学んだことを発表させる。	ワークシート

(3) 本時の評価

場面	評価基準
評価	<p>A：八代市の課題を踏まえ，課題解決や将来の展望について，効率と公正の視点を踏まえた上で，最終的にどの提案プランを優先するかを，根拠を持って説明している。</p> <p>B：八代市の課題を踏まえ，課題解決や将来の展望について，効率と公正の視点を踏まえた上で，最終的にどの提案プランを優先するかを，自分なりに考えることができる。</p>